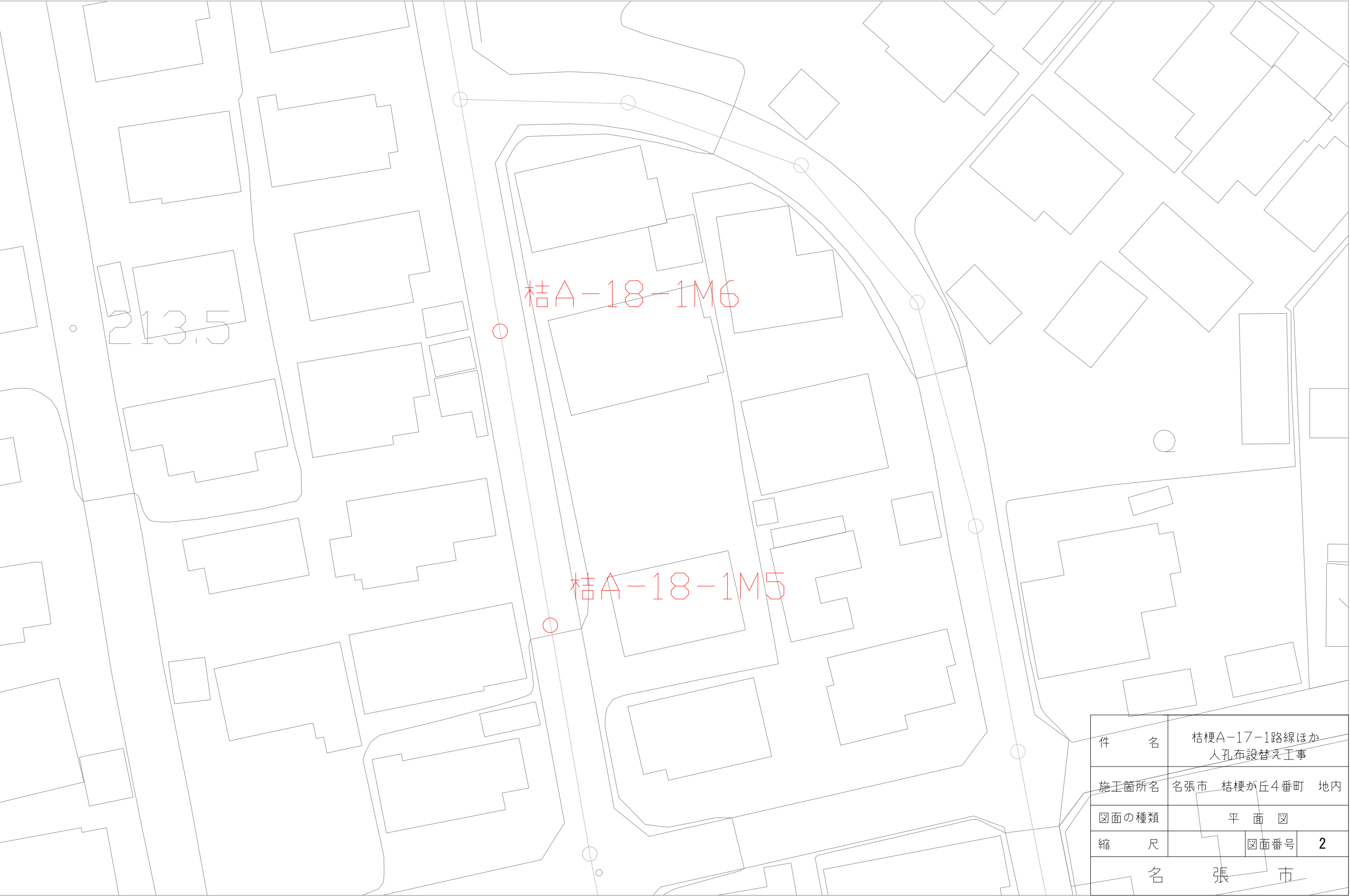
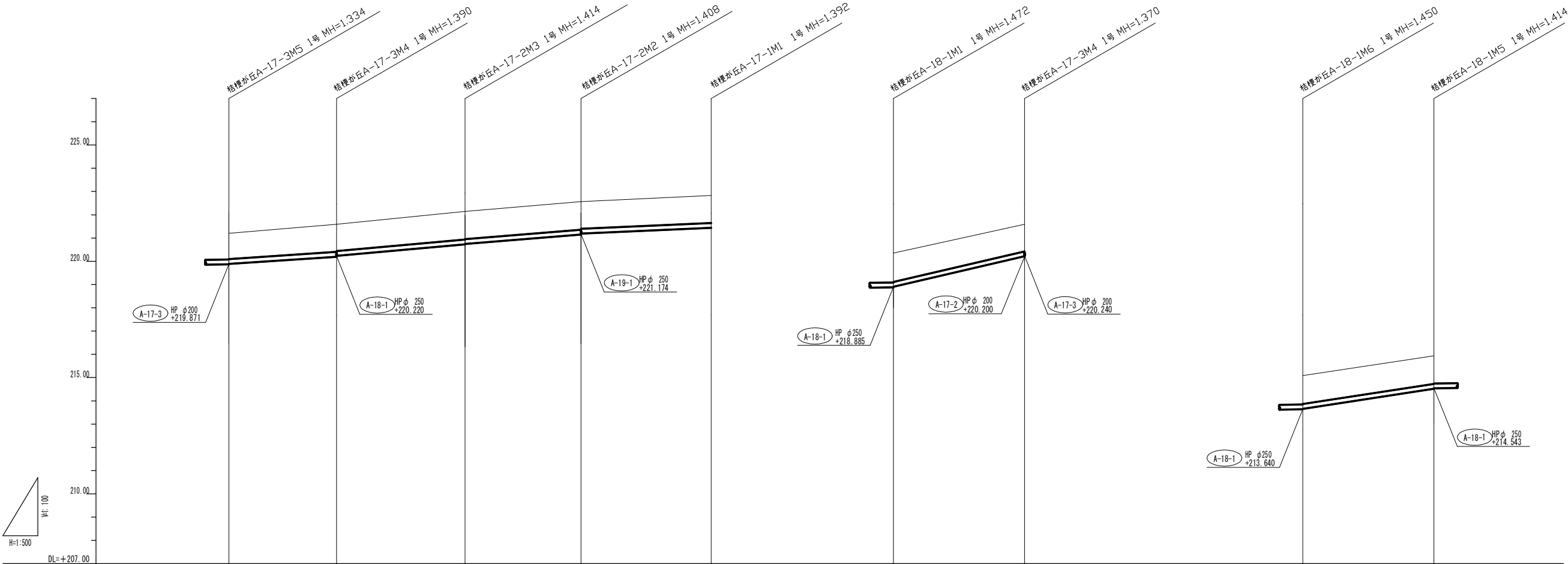


件名	桔梗A-17-1路線ほか 人孔布設替え工事		
施工箇所名	名張市	桔梗が丘4番町	地内
図面の種類	平面図		
縮尺		図面番号	1
名	張市		





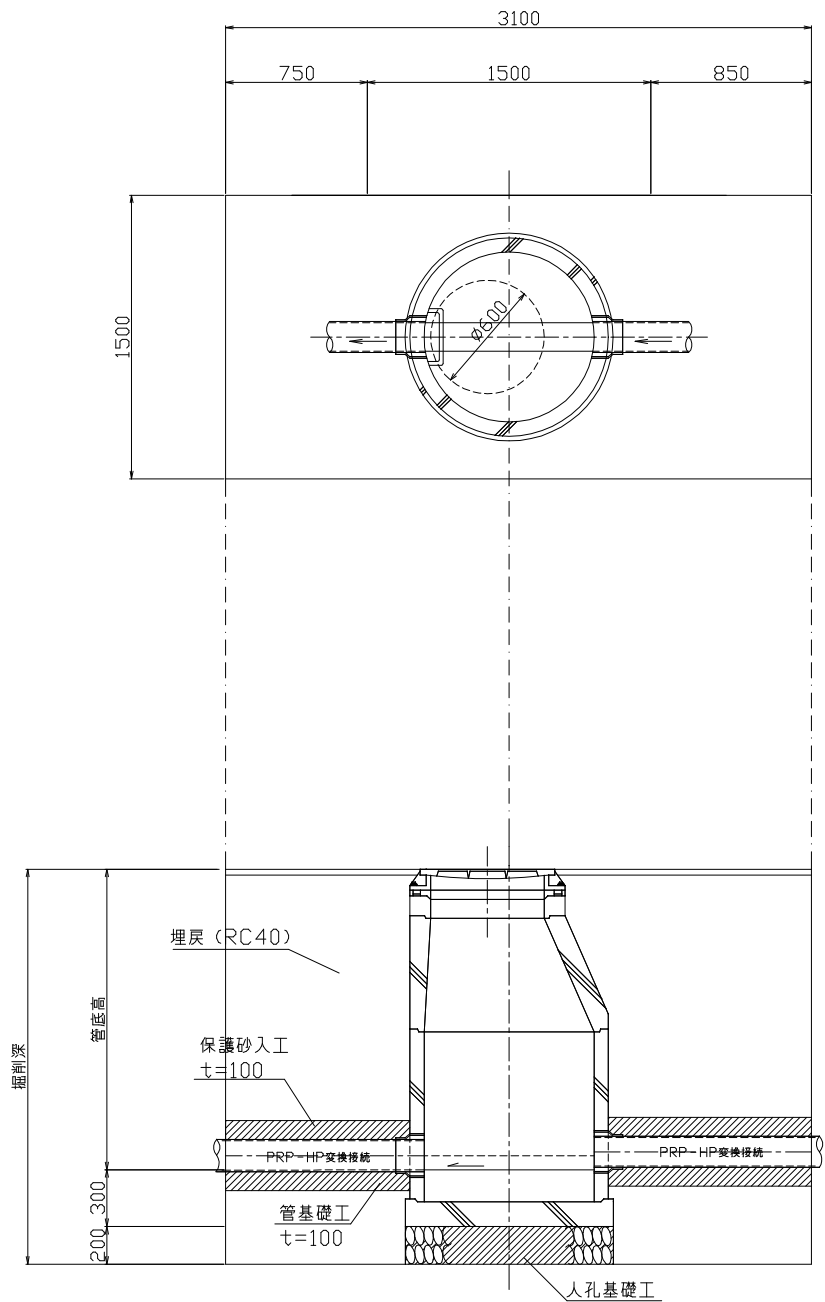
路 線 番 号		桔梗が丘A-17-3	桔梗が丘A-17-2		桔梗が丘A-17-1		桔梗が丘A-18-1		桔梗が丘A-18-1	
管 種 ・ 管 径			HPφ 200				HPφ 250		HPφ 250	
勾 配		13.0 %	17.8 %	16.2 %	8.8 %		46.6%		27.5%	
路 線 延 長		23.75	52.55		28.00		28.20		31.35	
人 孔 間 距 離		23.75	27.60	24.95	28.00		28.20		31.35	
工 法		軽量鋼矢板 2.0					軽量鋼矢板 2.0		軽量鋼矢板 2.0	
支 保 工		1					1		1	
落 差		0.02	0.04	0.02	0.04	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02
土 被		1.33 1.31	1.39 1.35	1.41 1.39	1.41 1.37	1.39	1.47 1.45	1.37 1.35	1.45 1.43	1.41 1.39
掘 削 深		1.66 1.64	1.72 1.68	1.74 1.72	1.74 1.70	1.72	1.80 1.78	1.70 1.68	1.78 1.76	1.74 1.72
管 底 高		219.871 219.891	220.200 220.240	220.730 220.750	221.154 221.194	221.441	218.885 218.905	220.220 220.240	213.640 213.660	214.523 214.543
地 盤 高		221.205	221.590	222.144	222.562	222.833	220.357	221.590	215.090	215.937
追 加 距 離		0.00	23.75	51.35	76.30	104.30	0.00	28.20	0.00	31.35
単 距 離		0.00	23.75	27.60	24.95	28.00	0.00	28.20	0.00	31.35
測 点		A-17-3M5	A-17-3M4	A-17-2M3	A-17-2M2	A-17-1M1	A-18-1M1	A-17-3M4	A-18-1M6	A-18-1M5

この図面は  
50%縮小

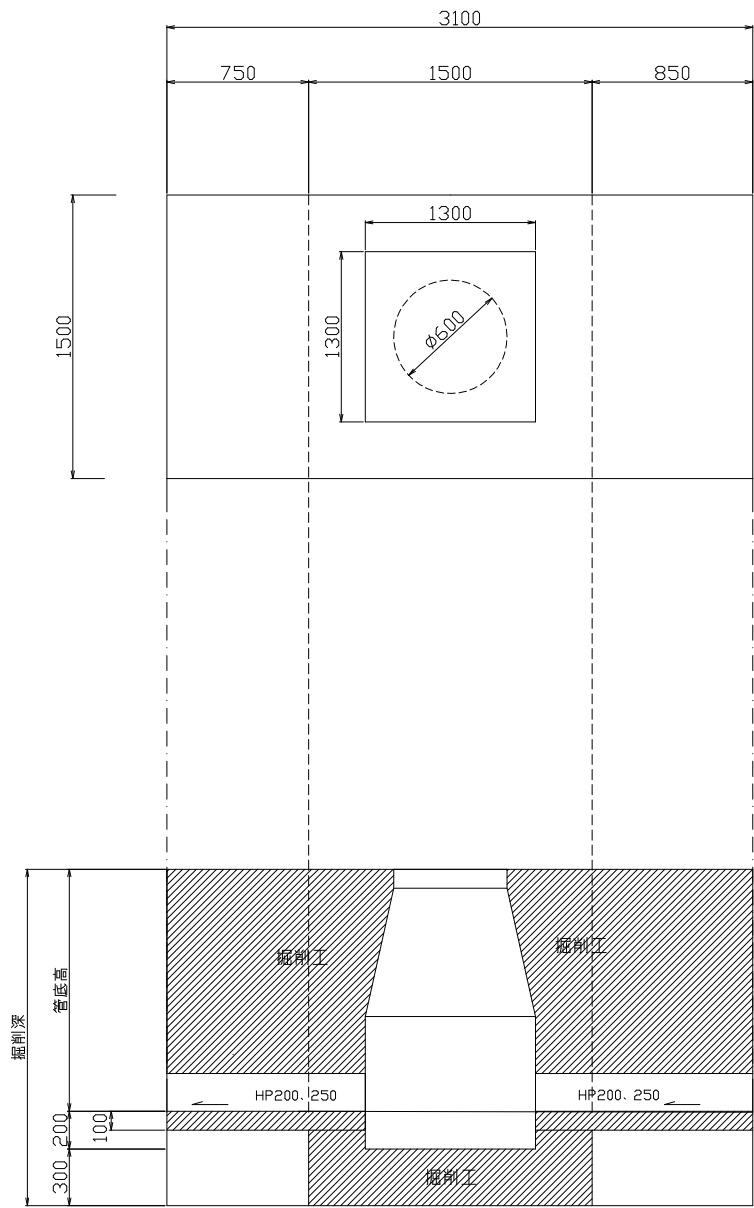
工 事 名	桔梗が丘A-17-1路線ほか 人孔布設替え工事		
施工箇所名	名張市 桔梗が丘4番町 地内		
図面の種類	縦 断 面 図		
縮 尺	1:500 1:100	図面番号	3
名 張 市			

土工展開図

(新設据付)



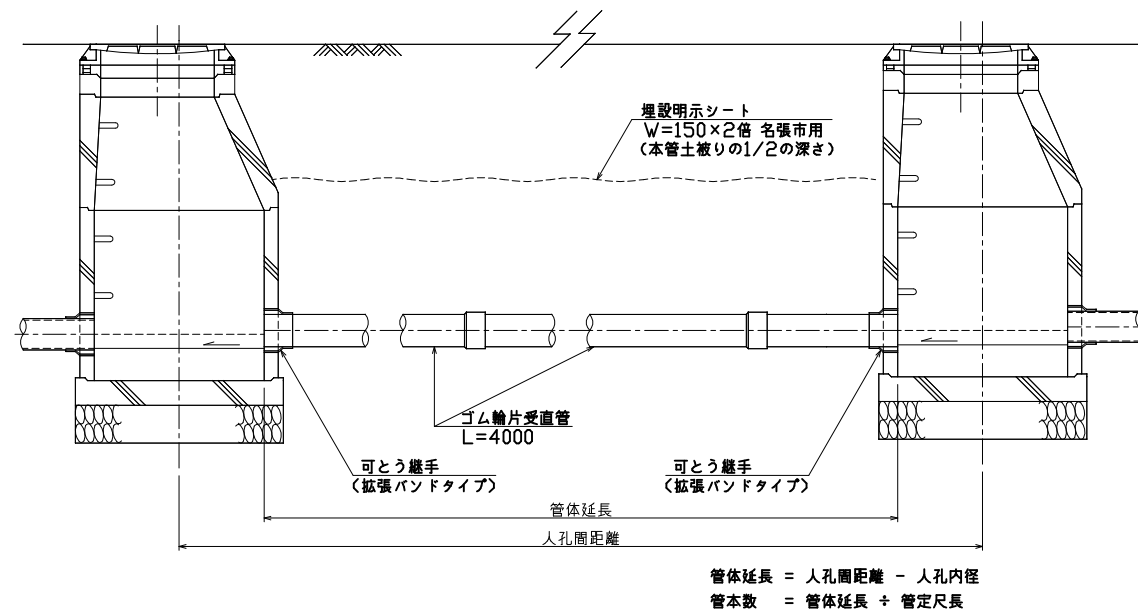
(既設撤去)



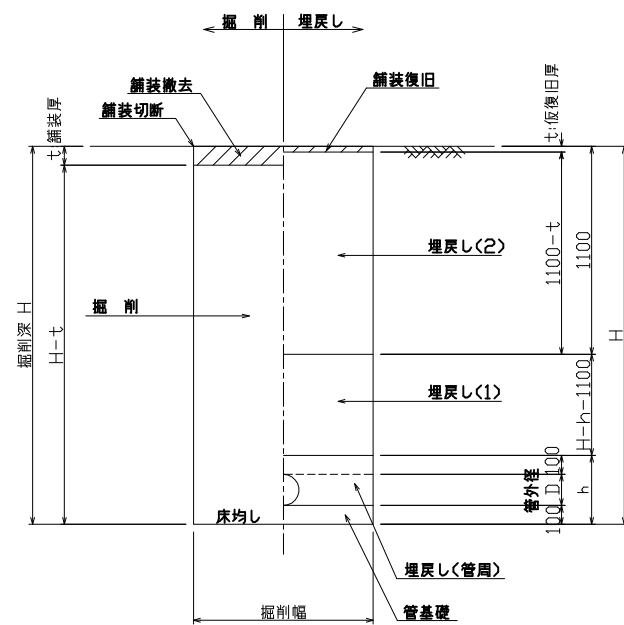
この図面は  
50%縮小

件名	桔梗が丘A-17-1路線ほか 人孔布設替え工事		
施工箇所名	名張市桔梗が丘4番町 地内		
図面の種類	土工展開図		
縮尺	1:20	図面番号	4
名張市			

## 管布設標準図



土工定規図



## 掘削幅表

					土留め無し					土留め有り				
管径	VU		PRP		人力	バックホウ				人力	バックホウ			
	管外径	厚さ	管外径	厚さ		0.08	0.13	0.28	0.45		0.08	0.13	0.28	0.45
150	165	8	171	11	750				900	850		900		1200
200	216	8	229	15	850					950		1050		
250	267	9	286	18	900				1000					
300	318	9	344	22	950				1050					
350	370	10	401	26	1000				1100					

### 埋戻し材料表

		国・県道	市道	その他道路
埋戻し(2)		RC-40	RC-40	流用良質土 またはRC-40
埋戻し(1)		RC-40	流用良質土 またはRC-40	流用良質土 またはRC-40
埋戻し(管周) 管基礎	VU HP	砂		
	PRP	砂またはS-13		

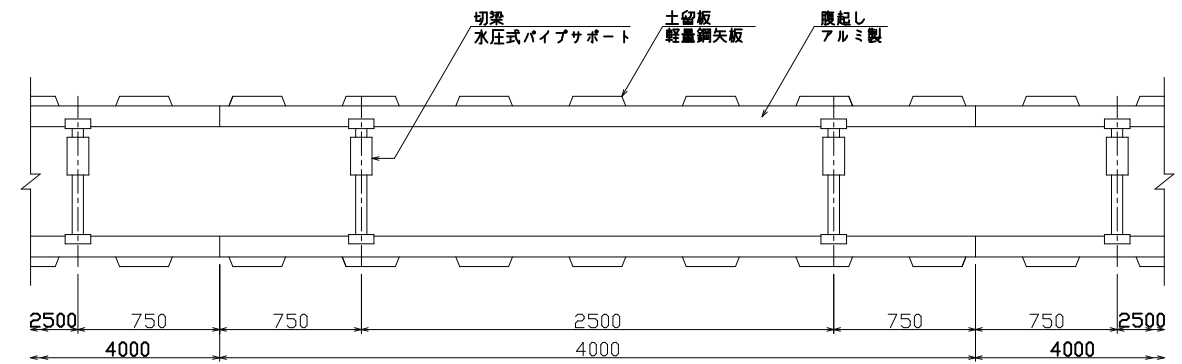
現場状況や道路管理者との協議により変更する場合がある。

## 土留工材料表 (参考)

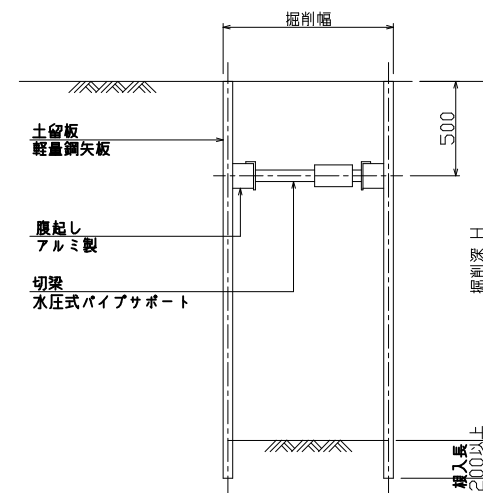
平均掘削深	土留材	支保材	
	軽量鋼矢板具 (W=333mm)	段数	部材
1.50<H≦1.80	2.0m	1	アルミ腹起し材 断面係数Z=120cm <sup>3</sup> 以上  切梁サポート材 許容圧縮荷重W=7.5t以上
1.80<H≦2.00	2.5m		
2.00<H≦2.30			
2.30<H≦2.80			
2.80<H≦3.30			
3.30<H≦3.50	3.5m	2	
3.50<H≦3.80	4.0m		3

土留工標準図

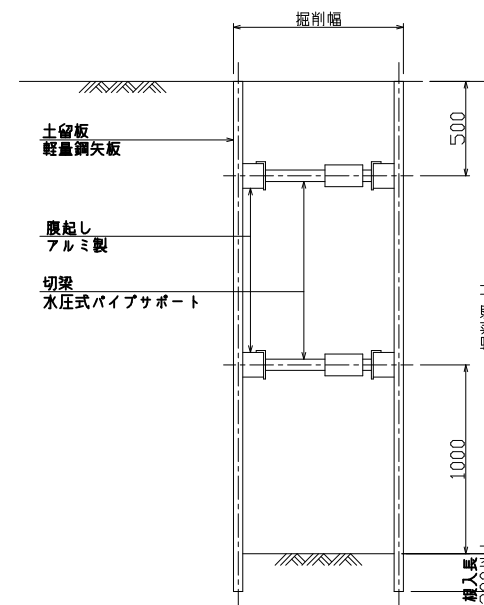
平面图



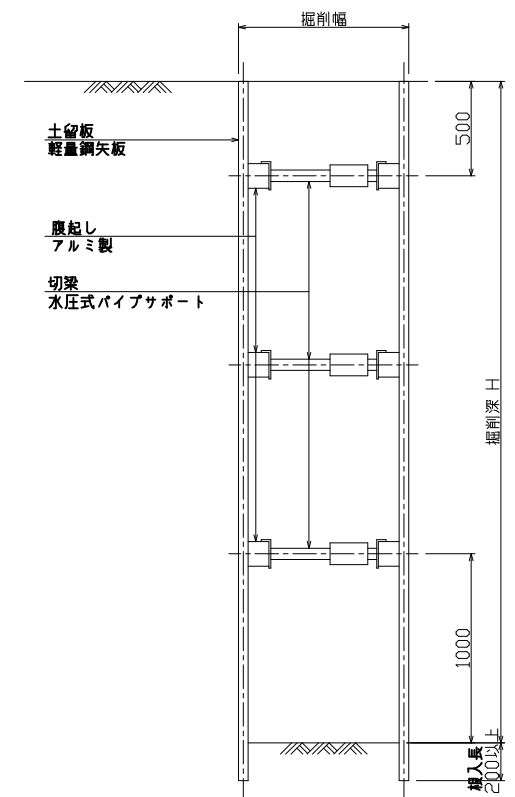
支保工 1 段

$$1.50 < H \leq 2.00\text{m}$$


支保工2段

$$2.00 < H \leq 3.50\text{m}$$


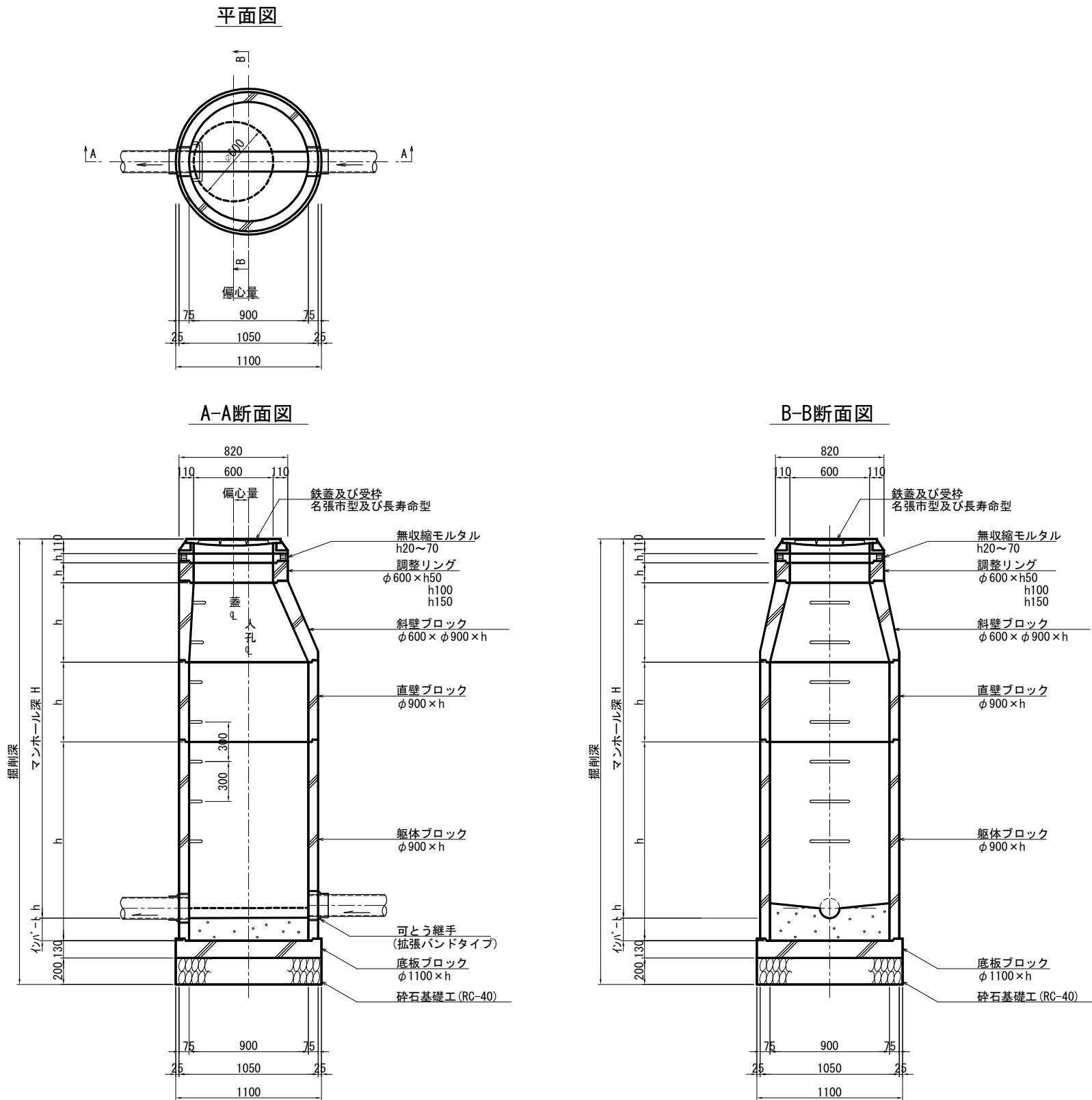
支保工3段

$$3.50 < H \leq 3.80\text{m}$$


この図面は  
50%縮小

件名	桔梗が丘A-17-1路線ほか 人孔布設替え工事		
施工箇所名	名張市桔梗が丘4番町 地内		
図面の種類	管渠開削工標準図		
縮尺	1:20	図面番号	5
名張市			

設置標準図

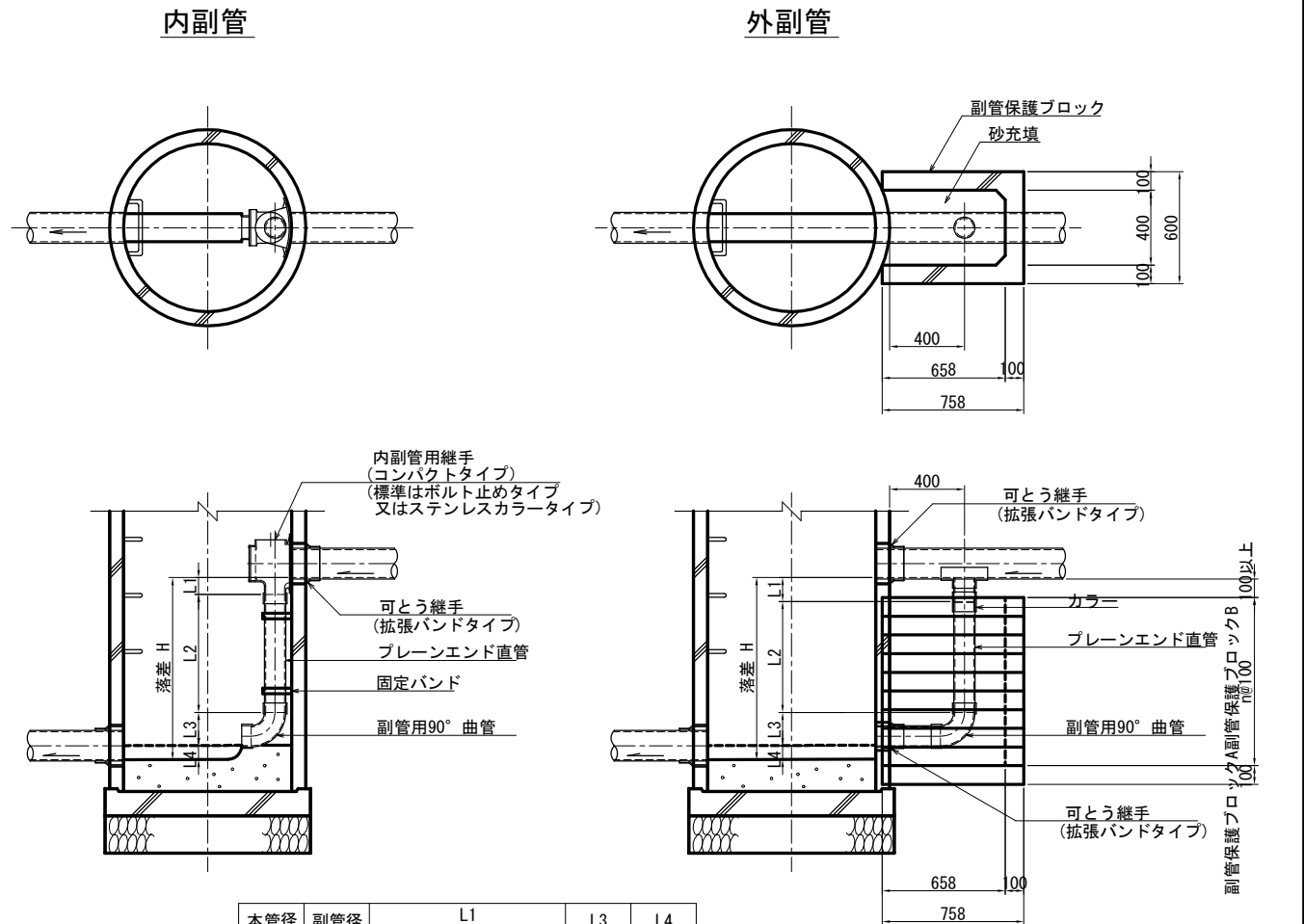


有効高さ、偏心量の例

製品名(順不同)	斜壁ブロック	直壁ブロック	躯体ブロック	底板	インポート	掘削深 (人孔深+)	偏心量
コネクトホール	150, 300, 450, 600	300~2400 (300 $\pm$ ヲチ)	600~2400 (300 $\pm$ ヲチ)	130	170	+500	115
バイコンマンホール	150, 300, 450, 600	200, 300~1800 (300 $\pm$ ヲチ)	900, 700~1900 (300 $\pm$ ヲチ)	(100)	200	+500	130
パワーホール	150, 300, 450, 600	300~1800 (300 $\pm$ ヲチ)	600~1800 (300 $\pm$ ヲチ)	130	160	+490	115
プレホール	150, 300, 450, 600	150, 300~2400 (300 $\pm$ ヲチ)	600~2400 (300 $\pm$ ヲチ)	130	160	+490	115
ユニホール	150, 300, 450, 600	300~1800 (300 $\pm$ ヲチ)	600~1800 (300 $\pm$ ヲチ)	130	170	+500	115
ユニックスホール	150, 300, 450, 600	300~1800 (300 $\pm$ ヲチ)	730~1930 (300 $\pm$ ヲチ)	(130)	170	+500	115

底板寸法が( )付きの物は底板付躯体の製品で、底板の寸法は躯体ブロック寸法に含む。

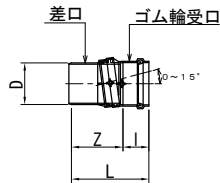
副管標準図



本管径	副管径	L1		L3	L4
		内副管 ボルト止めタイプ	外副管 ステンレスカラー		
150	100	90	205	120	178
200	150	61	230	140	245
250	200	-	-	160	296
300	200	-	-	160	296
350	200	-	-	160	296

※ 内副管のL1は参考値である

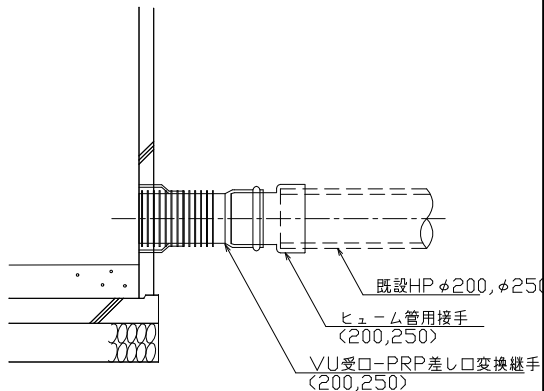
V型自在継手



呼び径	D	L	I	Z
150	165	375	165	210
200	216	425	185	240
250	267	505	205	300

- ・適用管径は内径600mm以下の中間点、450mm以下の会合点とする。
- ・マンホール深は5.00mまでとする。
- ・落差が0.60m以上である場合は副管を設置する。
- ・副管は内副管(コンパクトタイプ)を標準とするが、管径により継手製品が無い場合や多数の副管が付く場合は別途検討する。
- ・落差が3.80m以上である場合はマンホール底部の洗掘防止及び下水の飛散防止を考慮し副管以外も含め検討する。
- ・鉄蓋は名張市標準型及び長寿命型とし、国県道・1級市道・緊急輸送路指定路線はT-25、その他の路線はT-14を設置する。
- ・鉄蓋は不法開放防止性能、圧力解放耐揚圧性能付きとし、マンホール深2.0m以上の箇所には転落防止梯子を設置する。
- ・鉄蓋は、道路の屈曲部、交差点付近、勾配の大きい道路は長寿命型とする。
- ・鉄蓋の高さ調整は、舗装仕上り高に整合させ無収縮モルタルで行う。
- ・流入管の角度表示は流出管を基準として時計回りに角度を読む。
- ・本管勾配が30 $\pm$ ミル以上の場合は、V型自在継手を使用すること。但し、流出管の場合は短管(400mm)+V型自在継手とする。

既設ヒューム管接続工

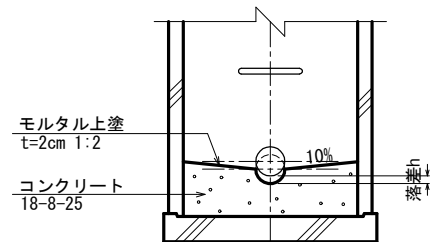


既設HP  $\phi$ 200,  $\phi$ 250  
ヒューム管用継手  
(200,250)  
VU受口-PRP差し口変換継手  
(200,250)

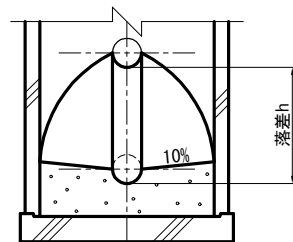
この図面は  
50%縮小

件名	桔梗が丘A-17-1路線ほか 人孔布設替え工事		
施工箇所名	名張市 桔梗が丘4番町 地内		
図面の種類	1号組立マンホール標準図		
縮尺	1 : 20	図面番号	6
名張市			

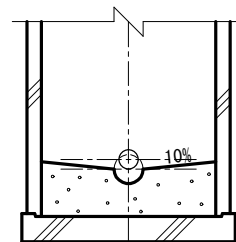
落差が小さい場合  
( $h \leq \text{流出管径の} 1/2$ )



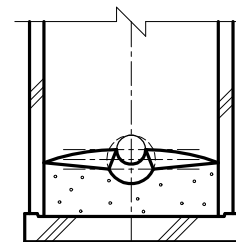
落差が大きい場合  
( $\text{流出管径の} 1/2 < h < 60\text{cm}$ )



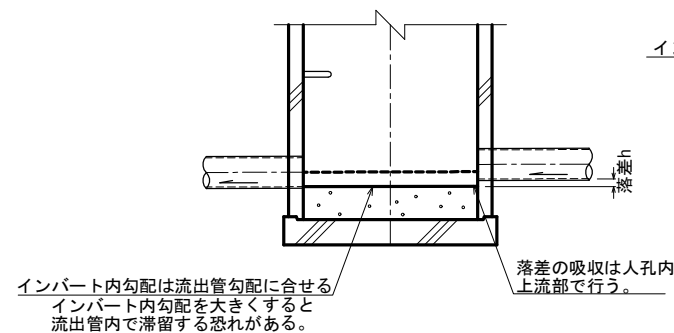
副管を設置する場合  
( $60\text{cm} \leq h$ )



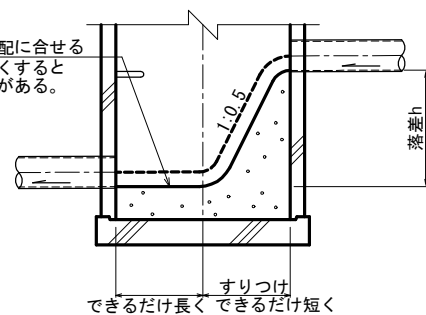
施工上管径を大きくした場合  
(推進工法等施工上の理由で必要管径より管径を大きくした場合)



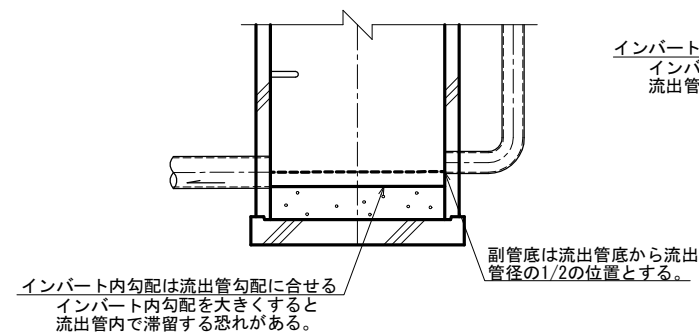
インバート高は必要管径の1/2とする。



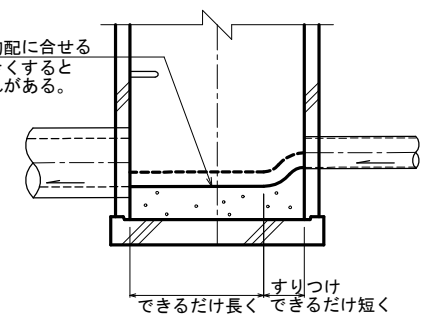
インバート内勾配は流出管勾配に合わせる  
インバート内勾配を大きくすると  
流出管内で滞留する恐れがある。



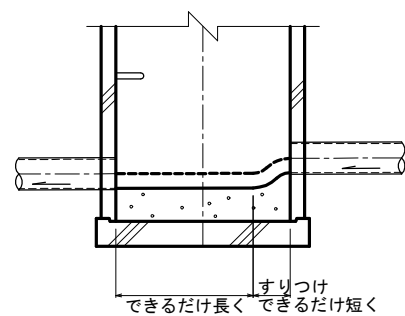
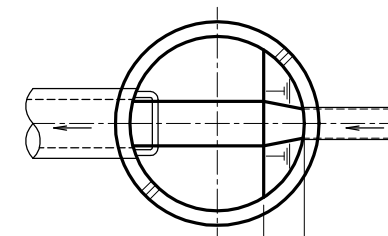
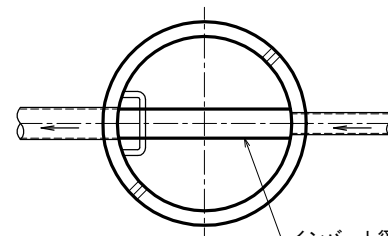
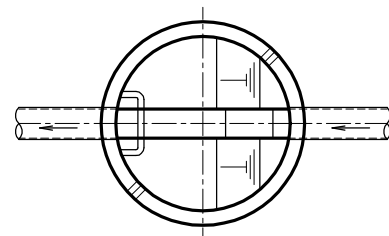
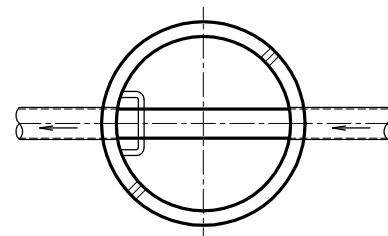
落差が流出管径の1/2～60cm未満  
はこの形状とする。  
落差60cm以上は副管設置とする。



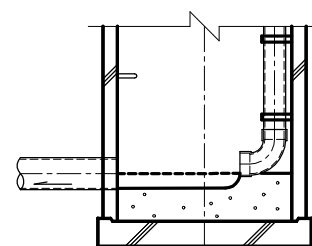
インバート内勾配は流出管勾配に合わせる  
インバート内勾配を大きくすると  
流出管内で滞留する恐れがある。



インバート高は必要管径の1/2とする。



落差があまり大きくない場合でもすりつけ  
は勾配1:05以内で最小範囲で行うこと。

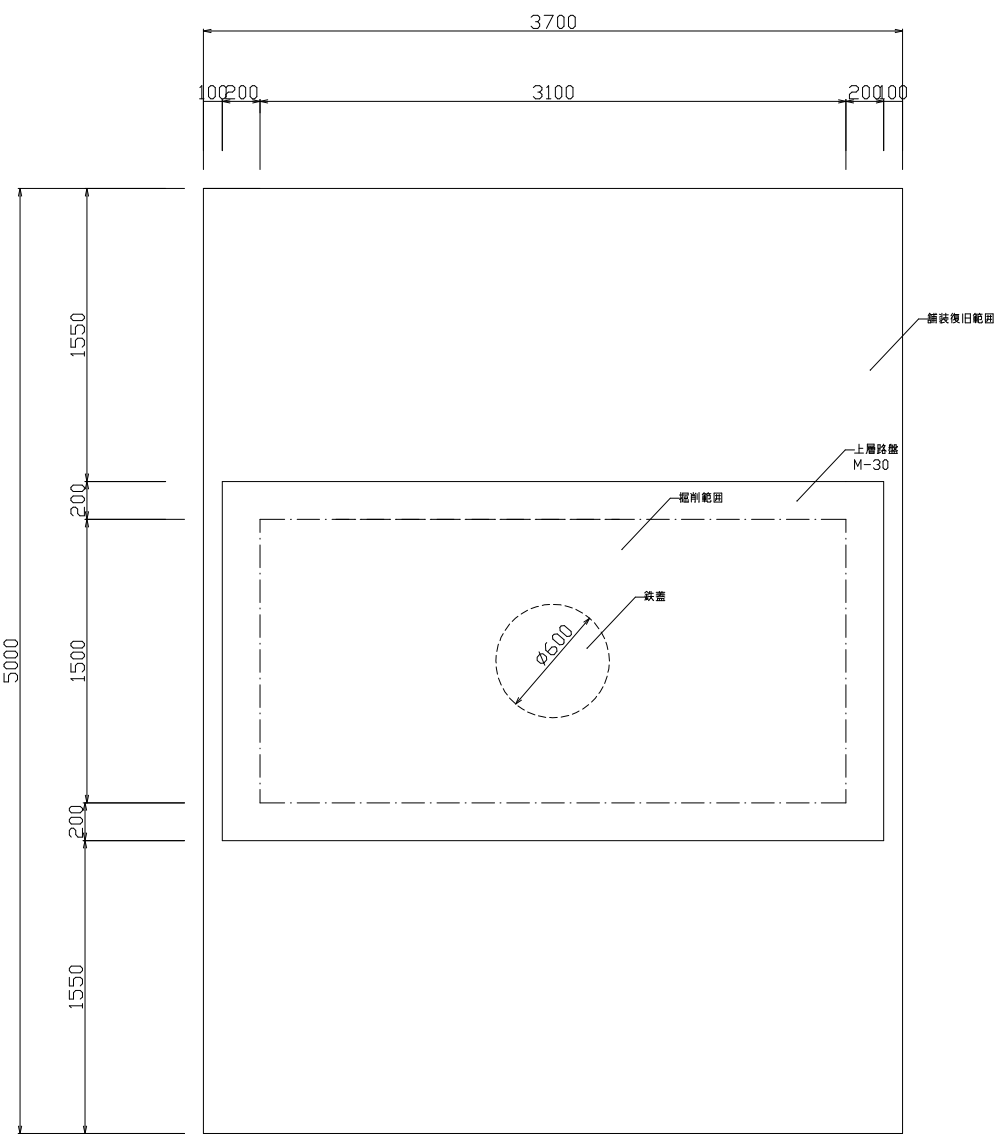


内副管の場合

この図面は  
50%縮小

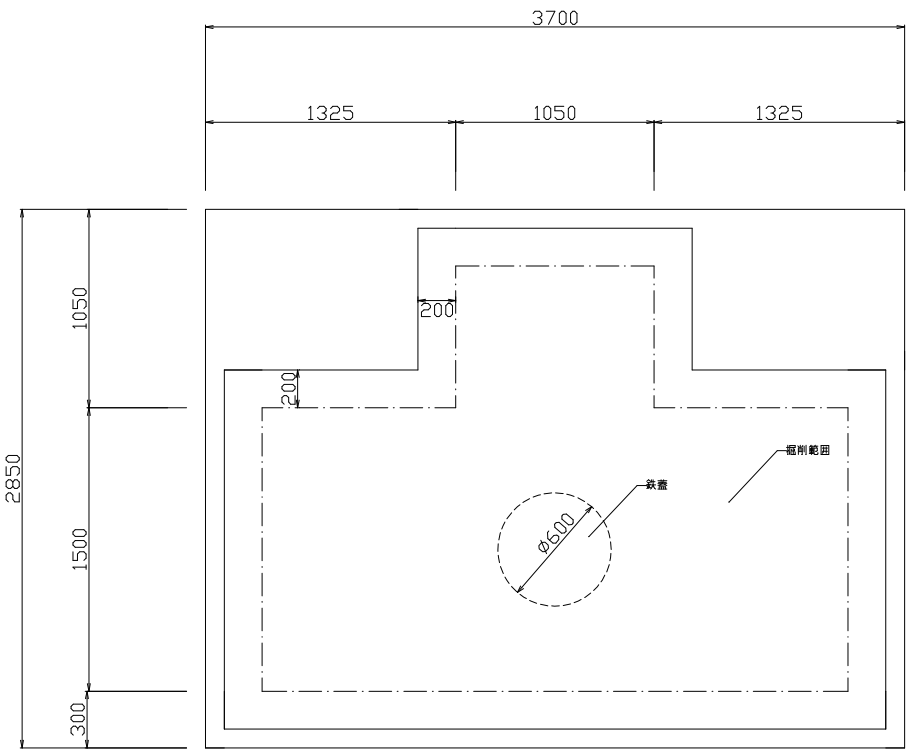
件名	桔梗が丘A-17-1路線ほか 人孔布設替え工事		
施工箇所名	名張市 桔梗が丘4番町 地内		
図面の種類	マンホール底部工標準図		
縮尺	1 : 20	図面番号	7
名 張 市			

舗装復旧範囲（全幅復旧）



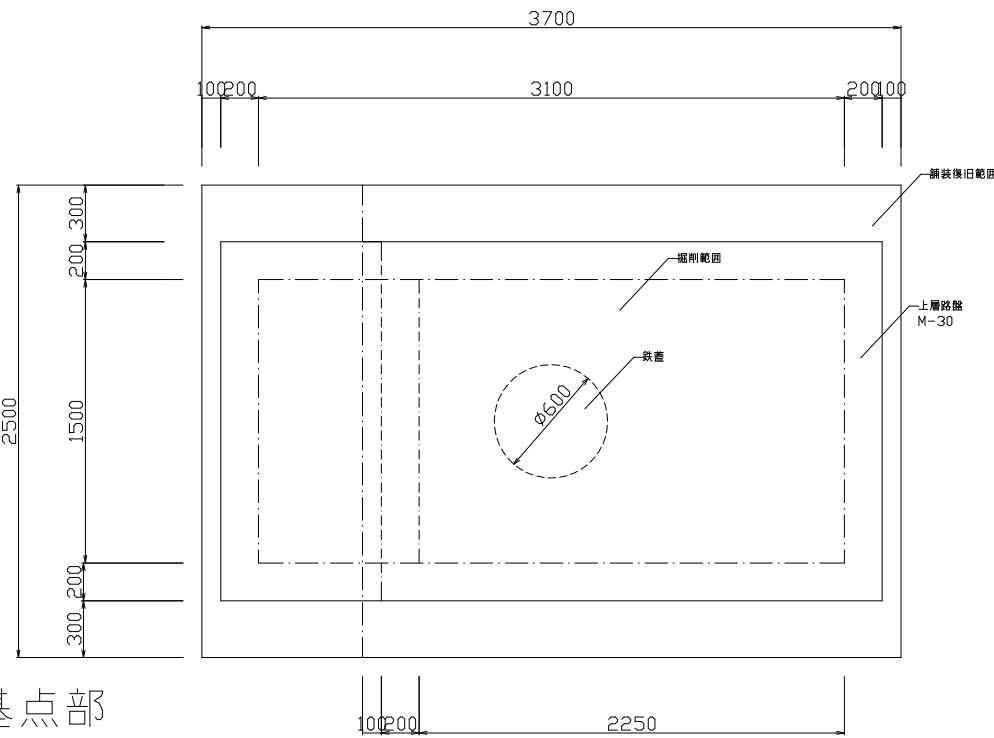
全幅復旧箇所  
・A-18-1M1

舗装復旧範囲（半幅復旧2方向）



2方向半幅復旧箇所  
・A-17-2M2  
・A-17-3M4

舗装復旧範囲（半幅復旧）



基点部  
・A-17-1M1

半幅復旧箇所  
・A-17-2M3  
・A-17-3M5  
・A-18-1M5  
・A-18-1M6

この図面は  
50%縮小

件名	桔梗が丘A-17-1路線ほか 人孔布設替え工事		
施工箇所名	名張市桔梗が丘4番町 地内		
図面の種類	舗装復旧図		
縮尺	1：20	図面番号	8
名 張 市			



